



清流の国ぎふ
SDGs フェスティバル2024

知るから、行動へ

「清流の国ぎふSDGsフェスティバル2024」の期間に合わせ、県内で先進的な取り組みを実践する企業をシリーズで紹介しします。**Volume.1** (毎週木曜日に掲載)

地域とともにSDGs！カーボンニュートラルセミナー
「企業競争力強化に向けた中小企業の脱炭素経営」

岐阜信用金庫 (岐阜市)

SDGs目標達成に向け、「オールぎふ」によるSDGsの取り組みを集中的に進めるため、事業者や自治体が連携し、さまざまなイベントやキャンペーンを県内各地で開催する「清流の国ぎふSDGsフェスティバル2024」が11月26日から始まった。来年1月31日まで合計60のイベントが予定されている。本企画ではその一部を、主催企業の取り組みとともに紹介。



熱心にセミナーを聴講する参加者ら＝岐阜市役所

「脱炭素経営」は成長の好機

「清流の国ぎふSDGsフェスティバル2024」が開催された11月26日、「脱炭素経営」をテーマにした岐阜信用金庫主催のセミナーが、岐阜市役所1階の市民交流スペース(ミニナト)で開催された。持続可能な地域経済の実現に向けた事業者支援を行う同庫の山岡義之(やまおかよしゆき)課長が講師を務めた。今年3月に設立した100周年を迎えた岐阜信用金庫は、この節目に、近年目が高まる脱炭素経営の重要性について紹介した。

山岡氏は、脱炭素経営の重要性について、地球温暖化による気候変動のリスクを挙げ、企業にとっての成長の好機として紹介した。また、他社と連携して脱炭素経営に取り組むことの重要性を強調し、同庫が提供するさまざまな支援策を紹介した。

山岡氏は、脱炭素経営の重要性について、地球温暖化による気候変動のリスクを挙げ、企業にとっての成長の好機として紹介した。また、他社と連携して脱炭素経営に取り組むことの重要性を強調し、同庫が提供するさまざまな支援策を紹介した。

<会社概要>

1024年3月設立。「地域密着型金融機関」として地域の発展に貢献。愛知県29店舗を開設。2020年2月、地方創生と持続可能な地域社会の発展を目指して「ぎふんSDGs宣言」を1期、2期、3期とSDGs推進パートナー登録度は「ゴールドパートナー」に登録されている。



講師を務める同庫の山岡義之

SDGsの取り組み

岐阜信用金庫は2020年2月、「ぎふんSDGs宣言」を表明。地域の課題解決を通じて地方創生と持続可能な地域社会の実現「取組先へのSDGsに関する情報の発信」などを掲げ、地域に根差した金融機関としての活動強化に努めている。

また今年9月には「脱炭素化に向けた取組方針」を策定。同庫内は、取組先にも脱炭素経営を推進し、実現に向けた支援を多方面で行っている。

本企画は、岐阜新聞・岐阜放送が「清流の国ぎふSDGsフェスティバル2024」の参加団体として、新聞全5回、岐阜放送全8回にわたり情報発信するものです。

ぎふチャン「情報フレッシュ」12月12日(木)21:56放送(約2分間)

「情報フレッシュ」は、12月16日、19日、26日/1月9日、16日、23日、30日放送(1月は20:54~)

できることから一歩ずつ 未来を創る、あなたのSDGs